

# 視聴覚いしかわ

Vol.7

発行／石川県視聴覚教育協議会  
編集／石川県立生涯学習センター学習情報グループ  
発行人／会長 梶本 逸子  
平成23年3月4日 発行

金沢市広坂2丁目1-1 石川県広坂庁舎 石川県立生涯学習センター内 TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9585

## 映像教育の新たな取組み



金沢学院大学 美術文化学部 教授 飯田 栄治

近年、映画産業は3D映画の登場などにより数年前に比べ興行収入も増えているようです。ここでは、そのような最先端の話題ではなく、身近な映像表現について目を向けてみたいと思います。専門学校や大学に映像を勉強したいと入学してくる学生たちの多くは、コンピュータによる画像の加工や映像編集技術が身に付けばハリウッド映画が作れると思っています。しかし、いざ制作させるとエフェクトばかりが目立つストーリー性の乏しい映像が出来上がります。映像制作の構築力・感性が身に付いていない状態でツールの使い方のみが分かったとしても自分のメッセージや喜怒哀楽を他人に伝えることは難しいのです。

現在、動画サイトYoutubeなどでも手軽に撮影したスナップ写真を紙芝居のようにつないでいく映像作品が多数アップロードされています。当然BGMも入っています。一般にフォトムービーと呼ばれているジャンルです。映像とは無関係の学生や社会人の方々が趣味で作っていたりするようですが、「結構センスがいいな」という作品も多々あります。

例えば、旅行に行った際のスナップ写真、友達の結婚式、家族やペットの写真などを素材として自分の思い描くストーリーで並べ動画にしたものです。カメラ付き携帯電話とパソコンに最初からインストールされているソフトウェア（AppleのiMovie、Windowsムービーメーカーなど）で手軽に作成でき、個人的趣味の範囲であれば市販のCDの曲などを映像にのせることも可能です。映像制作の裾野も広がったものです。我が国では、携帯電話の普及率は非常に高く、ほとんどの機種に高性能のカメラ機能が搭載されるようになりました。いつでもどこでも高解像度のスナップ写真が撮れることに着目すると視聴覚教育の新たな可能性が見えてきます。実は、大学の映像教育の入門的な課題として学生に制作させることがあります。映像のパーツが静止画ですので素材の組替えが容易であり映像設計力や感性を磨くのに大変都合なのです。

このスナップショットから物語を作るというアプローチ、是非、自治体や各地域での視聴覚教育で実践してみたいと思います。

現代的課題対応講座

**「2日でできる! 初歩からのブログ活用術」開催!!**

石川県視聴覚教育協議会

当協議会での初めての試みとして、12月7日(火)、8日(水)の2日間にわたり、石川県立生涯学習センターにおいて、「2日でできる! 初歩からのブログ活用術」の講習会を開催いたしました。



講習会では、「携帯電話でも簡単にできる、ブログの活用術」というテーマのもと、地域への広報のためにブログをこれから始めようと思っている県内各地の公民館職員の方々を対象に、ブログの活用事例、簡単な開設方法、記事の作成方法、写真の活用方法、設定の変更、魅力的な運用方法、携帯電話の活用方法等、ブログに触れる機会を提供し、ブログ活用に関する基本的な技術の習得を目指しました。

最初は、四苦八苦しながらの作業でしたが、慣れてくるに従い、意欲的に自分の職場のイベント情報や、趣味の集い等の記事を作成し、公開する姿などが見られました。参加者16名全員から、好評を得ることができました。

# 生涯学習センターの視聴覚関連事業から

## 1 はじめに

生涯学習センターの事業から、映像に関する新たな取り組みを紹介します。

## 2 16ミリ映画出前上映会

これまで、当センターを会場に、16ミリ映画の上映会「シネマ・アフタヌーン」を実施してきましたが、参加者は金沢市およびその近郊の方に限られていました。県民の財産である、視聴覚ライブラリー所蔵の16ミリフィルムの利活用を図り、より多くの県民の方々に16ミリ映画を鑑賞していただけるよう、今年度から、公民館等の市町の会場で、出前上映会を行っています。

今年度は、金沢市2カ所、内灘町、宝達志水町、能登町の5会場で実施しました。懐かしい16ミリ映写機を使用した上映会は、いずれの会場においても好評でした。中には、市町主催の生涯学習講座として開催いただいた上映会もあり、来年度以降も実施回数を増やすなど、より一層充実を図りながら実施することとしています。

## 3 いしかわの記録映画上映会

今年度より、県民大学校講座として、当センター視聴覚ライブラリーが所蔵している16ミリ映画の中から、本県に関する記録映画の上映会を開催しました。第1回講座では、「県政ニュース（No1～8）」と「伝統に生きる町・金沢」を上映しました。また、第2回講座は、生涯学習センター能登分室（能登空港ターミナルビル内）で開催し、「県政ニュース（No1～8）」と「能登上布」（旧石川県立社会教育センター自主制作映画）を上映しました。

貴重な記録映像を通して、本県の歴史や伝統について理解を深めていただく学習機会として、上映作品を工夫しながら、今後も継続的に実施する予定です。

## 4 本県に関する16ミリ記録映画のデジタル化

当センター視聴覚ライブラリーは、本県に関する16ミリ記録映画を少なからず所蔵しています。しかし、制作から相当の年数が経過しており、フィルム自身の劣化や色褪せなどから、本県の貴重な歴史的映像が失われようとしています。そこで、当センターでは、今年度から、デジタル化によるフィルム映像の復元・保存に取り組んでいます。

フィルム映像のデジタル化に当たっては、著作権法の関係から、複製等の許諾を得る手続が必要不可欠であり、今年度は、当センターが旧県立社会教育センター時代に自主制作した記録映画を中心に、デジタル化の作業を進めてきました。

4月以降、製作したDVD版による記録映画の上映会等を実施する予定としています。

## 5 終わりに

様々な映像技術が急速に進歩するなか、当センターの特色を生かしながら、新しい事業展開を図りたいと考えています。今後とも、皆様のご協力・ご支援を賜りたいと存じます。

## 大きな夢とロマンを求めて

生涯学習センタービデオクラブ 会長 村戸 建二



私たちのクラブ『生涯学習センタービデオクラブ（SVC）』を紹介します。SVCは、「県民映像カレッジ」の講座修了者により、平成元年11月に設立されました。同12月に第一回の月例会が開かれ、月報機関紙「SVC便り」が発行されました。

これまで、平成10年3月に“100号記念誌「夢を求めて」”を発行、平成11年11月に“創立十周年特集号”を発行、平成18年10月には200号、平成21年11月の創立二十周年を記念して、これまでの活動を記録した“20周年記念DVD”を作成しました。

また、会員が制作した映像作品の鑑賞会も兼ねた月例会や勉強会、撮影旅行を行っています。勉強会では、撮影機材も8ミリからVHS、DVテープ、DVD、ハードディスク、メモリーカードと変化、映像編集は、DVD、BDへと進化し、今は3D画像に挑戦しながらノンリニア編集にも取り組んでいます。

現在、50名の会員で好奇心旺盛な高齢者がメンバーの中心では有りますが、地域のイベント、史跡、残した風景、出来事（過去の映像を含む）等に全員で映像制作にチャレンジしています。

今後の課題は、私たちの制作した作品を“どのようにして県民の皆さんに見ていただくか”です。会員、役員の方々全員参加で、大きな夢とロマンを求め、クラブの活動を盛り上げて行きたいと張り切っております。これからも生涯学習センターの皆さまのご協力をいただきながら前進して行きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

なお、クラブのホームページ（<http://svcwatasinocrb.natsu.gs/index.htm>）に、会員の作品や活動状況を掲載していますので、ご覧ください。

## 平成22年度石川県視聴覚教育協議会・総会報告

平成22年6月17日(木)、石川県立生涯学習センターにおいて、平成22年度理事会及び総会が行われた。(出席市町10) 総会では、議長に小松市立図書館長 島田裕美子氏を選出し、議案審議を行い、平成21年度事業・決算報告並びに22年度事業・予算について可決承認された。

なお、総会終了後、記念講演として「映像教育の新たな取組み」と題し、金沢学院大学美術文化学部メディアデザイン学科 飯田栄治教授に御講演いただいた。

### 平成22年度 役員一覧

会 長	梶本 逸子	生涯学習センター館長	理 事	村田佳津男	県教委・生涯学習課
副会長	三浦 光雄	七尾市教育長	監 事	西島 光紀	津幡町・能登
参 与	土室 完	県教委・生涯学習課長	〃	澤田 憲司	白山市・加賀
理 事	上野 寛美	輪島市			
〃	谷 秀一郎	中能登町	事務局	事務局長 橋場 真一	生学セ・学習情報グループリーダー
〃	篠田 孝	金沢市		事務局員 伊東 整一	生学セ・学習情報グループ
〃	島田裕美子	小松市		〃 徳野 章人	〃

### 平成22年度 事業報告

#### 1 情報技術活用研修会

主体名	研 修 会 名	開 催 日	場 所	参加人数
金 沢 市	文書作成・プレゼンテーション研修・ホームページ作成講習	平成22年6月19日～平成22年7月14日	金沢市教育プラザ富樫	92人
能 美 市	IT講座(パソコン入門・WORD操作・EXCEL操作)	平成22年7月2日～平成22年12月10日	能美市立辰口図書館	59人

#### 2 映像メディア活用講習会

主体名	研 修 会 名	開 催 日	場 所	参加人数
石 川 県	ビデオ作品制作講座	平成22年8月20日～平成22年8月27日	石川県立生涯学習センター	10人

#### 3 視聴覚教育指導者講習会「現代的課題対応講座」

(第1回) 演題:「2日でできる!初歩からのブログ活用術」

平成22年12月7日(火)・8日(水) 16名参加 会場:石川県立生涯学習センター

講師:Officeアシスタ 山川広美氏

(第2回) 演題:「放送番組と現場取材」(いしかわビデオ作品コンクール発表会記念講演)

平成23年3月4日(金) 会場:石川県立生涯学習センター

講師:北陸放送元解説室長 金谷一男氏

## 第14回視聴覚教育総合全国大会・第61回放送教育研究会全国大会合同大会(東京大会)に参加して

県立生涯学習センター 学習情報グループ 伊東 整一

去る8月9日(月)、10日(火)の2日間にわたり、第14回視聴覚教育総合全国大会並びに第61回放送教育研究会全国大会合同大会が、「ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション」をテーマに、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催され、2日間で延べ1,264人の参加がありました。

第1日目は、テーマ別分科会⑩「よりよい教材提供や利用と映像教材の制作」に参加しました。はじめに、教材「高齢者と共に生きる～最後までの日々」の視聴を行い、その後映像制作者、映像教材提供者、学習機会提供者のそれぞれの立場から意見を聞き、映像教材の現状と今後の展望について協議が行われました。映像教材提供者として、今後貸出件数を増やすためには、タイトルのみの登録ではなく、どんな時にどのように使用できるか、紙ベースで紹介して提供しているという取組の発表がありました。また、教材データをいかに多くの人に知らせていくか、使用例等も含めて提供していくことが大事であるという話がありました。

2日目は、団体別分科会～全視連・公立センター～「地域メディア(CATV、ミニFM局、タウン誌等)との連携による地域活性化と学習活動」に参加しました。発表者である、福井市では、「夏休み子どもIT教室」や「ふるさとCM大賞」の開催等々、同じく篠山市では、「ホームページでの地域映像配信」や「丹波篠山ビデオ大賞」の開催等々、地域のCATVやインターネットTVによって、映像で地域の情報を放送しており、地域メディアの活用は地域活性化に有効であるとの話がありました。さらに、地域メディアによる地域活性化の可能性として、生涯学習の場の提供、ネットワーキング(結びつき)の促進、団体・機関活動の紹介と広報等々が大事であり、今後、地域社会との連携が重要性を増していくとの指摘がありました。

# 平成22年度（第41回）いしかわビデオ作品コンクール

今年度、応募期間を平成22年12月1日(火)～平成23年2月4日(金)とし、昨年同様、①学校教育・社会教育部門、②生徒・学生・一般県民の2部門で募集を行いました。

なお、コンクールは石川県教育委員会の共催とし、また、石川県小・中学校視聴覚協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会の後援を得て行いました。

応募は、①学校教育・社会教育部門8点、②生徒・学生・一般部門18点の計26点の応募がありました。

## 審査講評

2月17日、石川県立生涯学習センターにてビデオ作品の審査を行いました。出品作品のどれも画質がきれいで、見やすい画像に仕上がっていました。これはメディア媒体としてのDVDによるものなのか、カメラ等のハードウェアの進歩なのか、または撮影者の技術なのか意見の分かれるところでしたが、すべての作品レベルが高く、甲乙付けがたい作品に審査員一同賞の選定に大変苦慮しました。中でも生徒・学生・一般部門の最優秀賞、優秀賞に選ばれた方の撮影技術や表現、ストーリー性も維持しながらの編集技術は目立っていました。学校教育・社会教育部門の最優秀賞、優秀賞に選ばれた方は審査員の総合評価も高く、今後の成長に期待するものでした。  
(審査員長 棒田 邦夫)

## 審査委員

審査委員長	棒田 邦夫	金沢学院大学教授
委員	勝田 敏夫	メディアアドバイザー
〃	村田佳津男	県教委生涯学習課
〃	梶本 逸子	県立生涯学習センター館長

## 審査結果

①学校教育・社会教育部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	県工良いとこ	石川県立工業高等学校放送部
優秀賞 (石川県社会教育協会賞)	～平和町～終戦から64年	(金沢市)城南公民館
奨励賞	闇と希望の戦い	金沢市立泉中学校放送部
〃	食堂のおいしい話	石川県立金沢泉丘高等学校放送部
〃	事故はなぜ起きたか？	小松市立国府中学校保健委員会
②生徒・学生・一般部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	史跡・辰巳用水を訪ねて	(金沢市)森本 重雄
優秀賞 (石川県公民館連合会賞)	鷺達の捕食作戦	(金沢市)森 清
奨励賞	真夏のビデオ散歩	(金沢市)小屋 忠男
〃	からくり館を訪ねて	(かほく市)北川 嘉一
〃	能登号・北陸号 一人の画家人生を支える	(金沢市)藤平田 友市

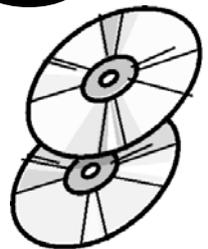
## 視聴覚ライブラリー ～県立生涯学習センターからのお知らせ～

### ○新着DVDのお知らせ

平成22年度後期の新着DVDの貸出を開始しました。すべて、団体貸出、館外上映可能なDVD教材です。個人・団体いずれの利用も可能です。貸出開始作品は、下記のとおりです。

- 「女と男 最新科学が読み解く性 (第1回 惹かれあう二人 すれ違う二人)」(58分)
- 「〃 (第2回 何が違う？なぜ違う?)」(58分)
- 「〃 (第3回 男が消える？人類も消える?)」(65分)
- 「ハプスブルク 絵画Collection」(74分)
- 「でんじろう先生の日曜実験室 ラブラボ！【第1・2巻】」(73分)
- 「アニメ ハチ公物語」(18分)
- 「アフガニスタンに命の水 ～ペシャワール会26年目の闘い～」(56分)
- 「父ありき (小津安二郎監督)」(94分)
- 「西鶴一代女 (溝口健二監督)」(137分)

NEW



### ○移転のお知らせ

県立生涯学習センターは、4月より石川県本多の森庁舎（金沢市石引町 旧石川厚生年金会館）へ移転します。新たなセンターで、これまでよりいっそう皆様のご期待に添えるよう、職員一同努力したいと思っています。皆様のご来館をお待ちしています。

### 編集後記

久々の雪に戸惑った今年の冬でしたが、ようやく春めいた日も続くようになりました。「視聴覚いしかわ」第7号発行にあたり、ご寄稿いただきました金沢学院大学美術文化学部教授飯田栄治様、生涯学習センタービデオクラブ会長村戸建二様には深く感謝申し上げます。さて、ここ数年話題となっていたアナログテレビ放送の地上デジタル放送化が、いよいよ本年7月に実施されます。また、テレビ以外の映像機器も技術革新が進められています。当協議会では、新たな技術に即した視聴覚教育の推進に努力したいと思っています。皆様のご支援をお願いします。

(学習情報グループ 徳野 記)